

CF ロガーコマンド版 治具アプリ「CFFile」取扱説明書

2007 年 7 月 30 日 (株)データテクノ 宮下 統基

目次

- 1 概要
- 2 動作環境
- 3 インストール方法
- 4 アンインストール方法
- 5 起動方法
- 6 画面と各コントロールの役割
 - 6.1 Write グループ
 - 6.1.1 テキストボックス「on pc」
 - 6.1.2 テキストボックス「on card」
 - 6.1.3 ボタン「Select」
 - 6.1.4 ボタン「Write」
 - 6.2 Read グループ
 - 6.2.1 テキストボックス「on pc」
 - 6.2.2 テキストボックス「on card」
 - 6.2.3 ボタン「Select」
 - 6.2.4 ボタン「Read」
 - 6.3 ボタン「Purge」
 - 6.4 ボタン「All Erase」
 - 6.5 テキストボックス「Status」
- 7 操作例：ファイルを送信する
- 8 操作例：ファイルを受信する

1 概要

このプログラムは、CF ロガー（コマンド版）のファイル単位でのアクセスをサポートするテスト用のアプリケーションです。パソコン（以下 PC）のファイルを CF ロガーに読み書きする為の手順をシーケンス化し、自動で読み書きする事が出来るものです。

なお、ここで説明するプログラムのバージョンは 1.2 となります。

2 動作環境

- ・ Microsoft Windows 汎用
(Windows XP Home Edition、Windows2000 での動作のみ確認済み)
- ・ .Net Framework 2.0 以上(必須)

3 インストール方法

- 1、CFCommand_File.lzh を解凍してください。
- 2、解凍した中の setup.exe を実行し、指示に従ってインストールして下さい。この際、.netFramework2.0 以上が入っていない場合、自動的にインターネットよりインストールを開始します。

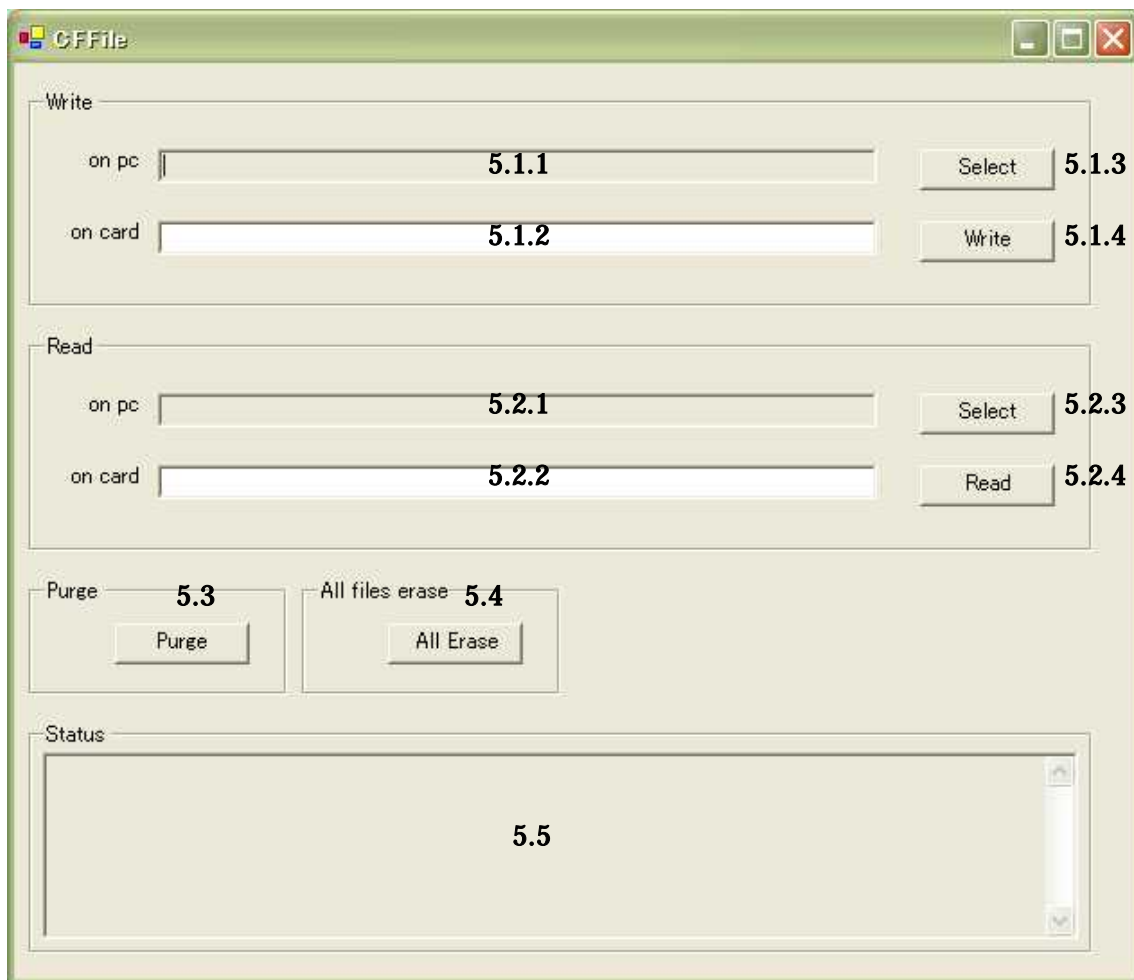
4 アンインストール方法

- 1、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」から、CFCommand_file を選び、削除を行ってください。

5 起動方法

インストールが完了すると、スタートメニューのプログラムに、「DataTecno」というフォルダが出ています。その中に、CFFile と CFCommand へのショートカットが来ていますので、CFFile を選択して下さい。

6 画面と各コントロールの役割



6.1 Write グループ

6.1.1 テキストボックス「on pc」

CF ロガーに送信する PC 側ファイルを表示します。選択するには、5.1.3 ボタン「Select」を押して下さい。

6.1.2 テキストボックス「on card」

CF ロガーに作成する CF 側ファイルの名前を入力して下さい。

6.1.3 ボタン「Select」

CF ロガーに送信する PC 側ファイルを選択します。ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログが表示されます。

6.1.4 ボタン「Write」

5.1.1 テキストボックス「on pc」と、5.1.2 テキストボックス「on card」の内容で、CF ロガーへの書き込みを開始します。

6.2 Read グループ

6.2.1 テキストボックス「on pc」

CF ロガーから受信したデータを格納する PC 側ファイルを表示します。選択するには、5.2.3 ボタン「Select」を押して下さい。

6.2.2 テキストボックス「on card」

CF ロガーから取得する、CF ロガー側ファイルの名前を入力して下さい。

6.2.3 ボタン「Select」

CF ロガーに送信する元ファイルを選択します。ボタンを押すと、ファイル選択ダイアログが表示されます。

6.2.4 ボタン「Read」

5.2.1 テキストボックス「on pc」と、5.2.2 テキストボックス「on card」の内容で、CF ロガーからデータ読込を開始します。

6.3 ボタン「Purge」

「CR(0x0D)」を 256 個送信します。

6.4 ボタン「All Erase」

CF ロガーのファイルを全て消去するコマンドを送信します。

6.5 テキストボックス「Status」

送信したコマンド、受信したリザルトコードを表示します。送信、受信した順にテキストボックス内の一番上の行に追加されるよう表示されます。

7 操作例：ファイルを送信する

以下の手順は、全て Write グループのコントロールを操作して下さい。

手順：

アプリ起動時にポート選択ダイアログが表示されるので、使用するポート、ボーレート、パリティを選択する。

5.1.3 ボタン「Select」ボタンをクリックし、送信する PC 側ファイルを選択する。

書き込む CF ロガー側のファイル名を 5.1.2 テキストボックス「on card」に入力する。

5.1.4 ボタン「Write」をクリックする。

8 操作例：ファイルを受信する

以下の手順は、全て Read グループのコントロールを操作して下さい。

手順：

アプリ起動時にポート選択ダイアログが表示されるので、使用するポート、ボーレート、パリティを選択する。

5.1.3 ボタン「Select」をクリックし、受信データを格納する PC 側ファイルを選択する。

読み込む CF ロガー側のファイル名を 5.2.2 テキストボックス「on card」に入力する。

5.2.4 ボタン「Read」をクリックする。